

(案)

平成 年 月 日

伊東市宇佐美地区における津波対策の基本方針（素案）

静岡モデル推進検討会 あて

伊東市津波対策宇佐美地区協議会

今後発生が予測される大規模地震に伴う津波被害を可能な限り減らすための、宇佐美地区におけるハード対策・ソフト対策の在り方について、下記のとおり基本方針（素案）を取りまとめましたのでご報告します。

記

- 1 最大クラス（レベル 2）の津波に備えた住民や観光客等の迅速かつ主体的な避難を最重要の対策と位置づけ、避難を後押しするソフト対策を推進する。
- 2 観光を中心とする産業、海岸線の景観や利用に配慮し、津波を防ぐための防潮堤等の新たな施設整備や既存施設のかさ上げは当面の間、行わないものとする。
なお、烏川、伊東仲川、伊東宮川については、現況の護岸高に相当する高さの津波の遡上を防ぐため、河口部に水門を設置する。位置については、別図のとおりとする。
- 3 現況の護岸の高さを超える津波に対しては、避難によって命を守るため、伊東市の津波避難計画を基本として別表および別図による短期・中期・長期対策を実施する。
- 4 これらの津波対策について、地区・静岡県・伊東市・関係機関が協力し、着実に実施していくとともに、今後も継続してソフト対策等を検討していく。

なお、静岡県の地震津波被害想定等が見直された場合は、上記基本方針（素案）についても、適宜見直すものとする。